

記載例:新設の廃棄物焼却炉1台の設置届を提出する場合

水銀排出施設設置(使用、変更)届出書

(あて先)
奈良市長 殿

設置届を提出する場合は使用、変更に取り消し線を引きます。

令和3年4月25日

提出日

届出者

住所 奈良市〇〇町111-2

×××株式会社

氏名 代表取締役社長 □□□□

法人にあってはその名称及び代表者氏名

届出者は原則法人の代表者です。代理人による届出の場合は委任状を添付して下さい。

押印不要

大気汚染防止法 第18条の23第1項 (第18条の24第1項、第18条の25第1項)の規定により、水銀排出施設について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	×××株式会社 △工場	※整理番号	
工場又は事業場の所在地	奈良市〇〇町三丁目1-10	※受理年月日	年 月 日
水銀排出施設の種類	8.廃棄物焼却炉	※施設番号	
水銀排出施設の構造	別紙1のとおり。	※審査結果	
水銀排出施設の使用の方法	別紙2のとおり。	※備考	
水銀等の処理の方法	別紙3のとおり。		

備考 1 水銀排出施設の種類の欄には、大気汚染防止法施行規則(以下「施行規則」という。)別表第3の3に掲げる項番号及び名称を記載すること。

2 ※印の欄には、記載しないこと。

3 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。

4 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。

5 参考事項の欄に、施行規則様式第1による届出年月日を記載する場合であって、都道府県知事又は大気汚染防止法施行令第13条に規定する市の長が別紙1～3の全部又は一部を添付することを要しないと認めるときは、別紙1～3の全部又は一部を省略することができる。

水銀排出施設の構造

工場又は事業場における施設番号		1号炉		
名 称 及 び 型 式		焼却炉 A-〇〇型		
設 置 年 月 日		年 月 日		設置届出の場合には 着手予定年月日及び 使用開始予定年月日 の欄に記入して下さい。 (備考1を参照)
着 手 予 定 年 月 日		〇〇年〇〇月〇〇日		
使 用 開 始 予 定 年 月 日		〇〇年〇〇月〇〇日		
規 模	伝 熱 面 積 (m ²)			施行規則別表第3の3 の中欄に規定する項 目のいずれかを記載 して下さい。
	燃料の燃焼能力 (l/h) (重油換算)			
	原料の処理能力 (t/h)			
	火格子面積又は 羽口面断面積 (m ²)	2		
	変 圧 器 の 定 格 容 量 (KVA)			
	焼 却 能 力 (kg/h)	200		

- 備考 1 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 規模の欄には、大気汚染防止法施行令別表第3の3の中欄に掲げる施設の当該下欄に規定する項目について記載すること。
- 3 水銀排出施設の構造概要図を添付すること。概要図は、主要寸法を記入し、日本産業規格A4の大きさに縮小したもの又は既存図面等を用いること。

水銀排出施設の使用の方法

工場又は事業場における施設番号		1号炉				
使用状況	1日の使用時間及び月使用日数等	0時～24時 時間／回 回／日 24日／月		時 ～ 時 時間／回 回／日 日／月		
	季節変動	通年				
原材料 (水銀等の排出に影響のあるものに限る。)	種類	木くず、汚泥		・代表値や平均値を記載。 ・幅記載でも問題ありません。 ・水銀含有量の測定が不可能な場合は空欄で差支えありません。 (例：梱包された状態での処理が求められる感染性廃棄物)		
	使用割合	木くず:汚泥=3:7				
	原材料中の水銀等含有割合	木くず:0.3 mg/kg 汚泥:0.01 mg/kg				
	1日の使用量	50 t/日				
燃料 (水銀等の排出に影響のあるものに限る。)	種類					
	燃料中の水銀等の含有割合					
	通常の使用量					
	混焼割合					
排出ガス量 (Nm ³ /h)		湿り	最大 44,000	通常 38,000	最大	通常
		乾き	最大 35,000	通常 29,000	最大	通常
排出ガス中の酸素濃度 (%)		10		・乾きガス中の濃度(平均的な濃度)を記入して下さい。 ・水銀等の処理施設がある場合には、処理後の濃度です。 ・届出の時点で実測値が得られない場合は設計値などでも可能です。 ただし、定期測定の結果と大きく異なる場合は変更届を提出して下さい。		
水銀濃度 (μg/Nm ³)	全水銀	1.5				
	ガス状水銀	1.4				
	粒子状水銀	0.1				
参考事項						

備考 1 水銀濃度は、乾きガス中の濃度とし、平常時の平均的な濃度を記載すること。

2 水銀濃度は、水銀等の処理施設がある場合には、処理後の濃度とすること。

3 参考事項の欄には、水銀等の排出状況に著しい変動がある施設についての一工程の排出量の変動の状況、水銀等の排出のために採っている方法等を記載すること。

水銀の処理の方法

水銀等の処理施設の工場又は事業場における施設番号				系統1		
処理に係る水銀排出施設の工場又は事業場における施設番号				1号炉		
水銀等の処理施設の種類、名称及び型				焼却炉 A-〇〇型		・水銀等の大気排出抑制に効果があると考えられる排出ガス処理設備について記載して下さい。 (例: 電気集じん機、スクラバー) ・水銀等の処理施設の構造図及びその主要寸法を記入した概要図を添付して下さい。
設置年月日				〇〇年〇〇月〇〇日		
着手予定年月日				年 月 日		
使用開始予定年月日				年 月 日		
処理能力	排出ガス量(Nm ³ /h)	湿り	最大 44,000	通常 38,000		
		乾き	最大 35,000	通常 29,000		
	排出ガス温度 (°C)	処理前	160			
		処理後	145			
	排出ガス中の酸素濃度(%)		6.3			
	水銀濃度	全水銀 (μg/Nm ³)	処理前	〇〇		
			処理後	1.5		
		ガス状水銀 (μg/Nm ³)	処理前	〇〇		
			処理後	1.4		
		粒子状水銀 (μg/Nm ³)	処理前	〇〇		
処理後			0.1			
捕集効率(%)	全水銀		〇〇			
	ガス状水銀		〇〇			
	粒子状水銀		〇〇			
使用状況	1日の使用時間及び月使用日数等		0 時 ~ 24 時 時間/回 回/日 24 日/月		時 ~ 時 時間/回 回/日 日/月	
	季節変動		通年			

- 備考
- 1 水銀排出施設において発生する水銀等を排出口から大気中に排出する前に処理するための施設(集じん機等)
 - 2 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
 - 3 水銀濃度は、乾きガス中の濃度とすること。
 - 4 水銀等の処理施設の構造図及びその主要寸法を記入した概要図を添付すること。

参 考 事 項

(項目選定のものは、該当項目を○で囲むこと。)

資 本 金	円		従 業 員 数	人
主 要 製 品			操 業 時 間	時 ～ 時
用 途 地 域			敷 地 面 積	m ²
付 近 見 取 図 (案内図)	下記のとおり・別添のとおり		建 物 面 積	m ²
担 当 部 課 係			電 話 番 号	市外 () ()
担 当 者			公 害 防 止 管 理 者	
他法令による許可 ・届出の状況 (手続)	大気汚染防止法	不要・未了・完了	年 月 日 提出 年 月 日 受理	
	騒音規制法	不要・未了・完了	年 月 日 提出 年 月 日 受理	
	静岡県生活環境の 保全等に関する条例	不要・未了・完了	年 月 日 提出 年 月 日 受理	
	電気事業法	不要・未了・完了	年 月 日 提出 年 月 日 許可・受理	
	ガス事業法	不要・未了・完了	年 月 日 提出 年 月 日 許可・受理	
	農 地 法 (農地の転用の手続)	不要・未了・完了	年 月 日 提出 年 月 日 許可・受理	

備考 用途地域の欄には、都市計画法に基づく用途地域を記入すること。